

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

9月定例会では24・25・26日の3日間で17人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長  
前川 やすえ



## 一般質問

三輪 かずよし 議員（無所属）

### 小・中学校体育館へのエアコン設置について

**議員** 小・中学校体育館へのエアコン設置については、昨年9月定例会の一般質問で取り上げて、設置を求めたところである。その後、市長マニフェストに「小・中学校体育館へのエアコン設置」が掲げられたが、全校設置までのタイムスケジュールをどのように考えているのか。

**教育部長** 現時点で詳細なスケジュール等は未定であるが、他市の事例等では、前年に設計を行い、次年度に工事という計画で1年に3校程度の規模で進められている。また、

学校行事等への影響や地域の平準化などを踏まえた上で設置する順番や実施スケジュールを検討していきたい。

**議員** エアコンの機種や設置場所について、どのような検討がされているのか。

**教育部長** 現在、設計業者などの意見や、他市の事例として、室内の壁にパネルを設置してその中に冷媒ガスを通すことで冷暖房をしていくという「輻射パネル方式」などを参考にしながら検討している。

### 南町地区防災計画について

**議員** 南町コミュニティ委員会では、「自分の命は自分で守る みんなの命はみんなを守る 南町地区防災計画」を策定した。本市としては、今後の計画の進め方をどのように考えているのか。

**市民生活部長** 現在、内閣府や県から情報を収集しながら改めて計画上の課題を洗い出している。まずは現状の計画

を運用しながら、定期的に評価・修正を行い、計画上の課題を解決することが重要と考えている。また、おむね課題が解決された段階で、蕨市防災会議に対し、「南町地区防災計画」を蕨市地域防災計画へ定めることをご提案いただきたいと考えている。

**議員** 投票率向上のための取り組みをどのように考えているのか。

### 市長・市議会議員同日選挙について

**選挙管理委員会委員長** 大型店舗での店内放送による投票参加の呼びかけや、委託業者の広報車両などによる巡回放送を実施し、啓発に努めている。また、今年7月の参議院議員通常選挙では、初めての取り組みとして、市内の高校3年生の生徒さんが、蕨市明

るい選挙推進協議会推進委員とともに、蕨駅東西口で選挙啓発物資を配布し、街頭啓発を行ったところである。



みわ かずよし

# 本市におけるAI及びRPAの導入について

**議員** 二〇二〇最近、一般企業では人間と同等、またはそれ以上に高い精度で対話内容を認識するAIや、定型的な作業をコンピュータに設定することで、自動で高速かつ正確に業務処理を行うRPAの実用化があらゆる分野で進んでいる。自治体においても、行政課題を解決する手段として注目が集まっているが、AI及びRPA導入における本市の課題とその対策はどのようなか。

**総務部長** 課題としては、事務の棚卸しに膨大な時間や人的コストを要することや、導入後の管理及び維持費、既存システムとの互換性などが挙げられる。また、その対策については、他自治体が導入済みの商品の共同利用などを視野に、費用に見合った効果が得られるものを選択することや、導入事務の一部の業者への業務委託などが考えられる。いずれにしても、先進的な自治体で導入が始まった段階であり、そうした動向を見極め

ながら、本市に有効な取り組みがあれば検討を進めたい。

**議員** 市役所の中でも業務を効率化し、職場環境の改善につなげられるように、推進していただきたい。

## 身元確認支援事業について

**議員** 認知症などの方が自宅や施設から外出したまま所在がわからなくなったときに、ご本人の早期発見と安全確保及び介護をする家族の負担を軽減するために、QRシールによる身元確認支援サービスを導入する考えはないか。

**健康福祉部長** 認知症高齢者等が発見、保護された際に、いち早く身元を確認できるよう、事前に対象者の持ち物や爪に張っておくQRコードが記載されたシールを配布している自治体があることは承知している。本市では、高齢者を保護したときの連絡が警察を通して来ることや、市民の皆さんが認知症による徘徊者であると判断し、さらに、QRシールの確認まで可能かという課題が考えられることなどから、本サービスの導入以前に、認知症により行方不明になるおそれのある高齢者のお名前や身体的特徴などを事前に登録していた



こばやし りき

**議員** 他市の事例では、見つけてから30分以内に連絡がつく、警察との連携も早いということが聞いているので引き続きQRコードについても検討していただきたい。



QRシールによる身元確認支援事業の推進を（入間市ホームページより）

## あつたか市政を問う

# 見沼代用水の現状と市民生活への影響について

**議員** 蕨高校の裏を流れる見沼代用水の現状と今後の市民生活への影響、課題と活用方法はどのようか。また、錦町土地区画整理事業と関連した見沼代用水の管理体制の考え方はどのようか。

**都市整備部長** 市内を流れる見沼代用水のうち、旧中山道の一六橋付近で、蕨市管理の水路に接続する新曽用水は、錦町地区内で土水路となり、緩勾配であることから土砂の堆積や雑草の繁茂、ごみの投げ捨てなどが見受けられ、環境改善等の対策を継続的に実施していただくよう、水路の管理者である見沼代用水土地改良区に対し、要望を行っている。また、見沼代用水を利用して農業を営む方は市内には居なくなるなど、農業用水としての役割は概ね終えたものと認識しているが、農業用水という性質上、他の用途への活用は難しいと考えている。市内では都市化の進展に伴い、農地の宅地化などの環境の変化により、施設の維持管理が課題となっている。

**議員** 9月4日、見沼代用水が世界かんがい遺産に選ばれたことで、新埼玉県知事も、マスコミへのコメントの中で、「埼玉農業の発展ひいては地域の発展に大きく寄与する」と期待の声を寄せている。この見沼代用水が蕨に流れてくるときには、その使命を終えたとはいえず、最終段階を迎える訳であり、最後まで管理を怠らないよう、関係機関に要望を上げていただきたい。

**教育部長** 現時点では、詳細なスケジュール等は未定であるが、他市の計画も参考にしながら、各学校や関係部署とも緊密に連携をとり、スケジュールの検討を進めている。また、市民体育館については、風の影響を受ける競技に配慮した設備の検討が必要であると考え、風が発生しないタイプの機器もあると伺っている。他市の事例等も参考にしながら研究していきたいと考えている。



見沼代用水の環境改善に向けた対策を



ねもと ひろし

# 利用者は市民全体の1%以下で年間5千円以上の季、コミバス1台増は誰のための施策なのか?

**議員** 現在、コミュニケーションは1日1台当たり186人の利用数で、利用率は市民全体の1%以下である。1台で年間1350万円、4台で5000万円以上の市補助金(赤字額)を生むことは必至であり、あまりにも財政上問題過多である。まずは現行の3台による利用者の拡充を最優先すべきと考えるがどうか。

**市民生活部長** これからの社会にあつてますます必要かつ重要な施策であり、その効果は非常に大きいものが期待さ



支援を必要としている「ひかり幼稚園」

**議員** 幼児教育無償化の基本理念は、すべての子どもが健やかに成長するよう支援するものであり、幼稚園類似施設であるひかり幼稚園にも志木市、狭山市と同様に市独自の緊急支援を行う考えはないか。

**教育部長** 3月5日付の国からの通知では、地方自治体独自の支援策として、「保育料または運営費を独自に補助する」「無償化対策施設への移行を支援する」「地域子ども子育て支援事業の実施により支援する」といった取り組み例

**議員** 幼児教育無償化の基本理念は、すべての子どもが健やかに成長するよう支援するものであり、幼稚園類似施設であるひかり幼稚園にも志木市、狭山市と同様に市独自の緊急支援を行う考えはないか。

**消防長** 多くの外国籍の方々の対策となる電話通訳センターを介した三者間同時通訳機能について、他市の導入や運用状況等を調査したところ、本機能には一定の効果も期待できると認識している。費用面や運用面の課題もあるので、今後、二者間同時通訳機能の導入に向けて検討したい。

**ほかに** 三元NPO法人バスライフの不正受給問題について厳しく言及。



いちのせき かずいち

が示されており、現在、ひかり幼稚園とも協議し、これらの支援方法についても検討しているところである。

**消防本部に多言語コールセンターの設置を**

**議員** 日本語が不自由な外国籍の市民が急増する中、119番受付時や災害現場における円滑なコミュニケーションを図るため、電話通訳センターを介した三者間同時通訳可能な多言語コールセンターを早期設置する考えはないか。

## 一般質問

# 蕨市における教育ICT化について問う

**議員** 新学習指導要領では、令和2年度から小学校のプログラミング教育が必修化される。プログラミング教育には、コンピュータに意図した処理を行わせるための理論的な思考、プログラミング的思考などを育むことが含まれている。情報活用能力を育成する新しい教育課程の実現のため、最低限必要なICT環境をどのようにとらえているのか。

**教育長** 国の第3期教育振興計画及び新学習指導要領には、3クラスに1クラス分程度の学習者用のコンピュータの整備や、普通教室及び特別教室への無線LAN、大型提示装置の整備の必要性が方針として示されている。教育委員会としては、本年度のタブレット兼用型パソコン等の整備後、各校の授業実践による効果及び課題を精査し、学校において最低限必要とされ、かつ優先すべきICT機器を段階的に整備できるよう検討したい。

**議員** 文科科学省の5カ年計画

画には、児童・生徒が1人1台の環境で学習ができることが目標水準とある。この水準になるのはいつ頃の見込みか。

**教育長** 現時点で具体的な時期を示すことは難しいが、今後も本市に適用した規模の整備が進められるよう努力したい。

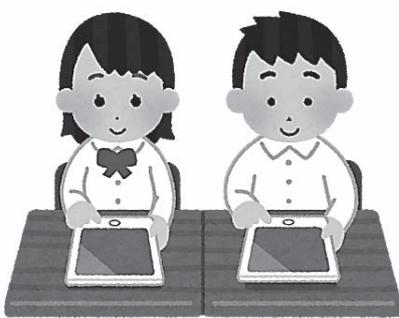
**議員** 教育に格差があつてはならない。格差が生まれないように、最低限必要な環境整備を早期に実現し、継続的な環境整備を検討してほしい。

**消費税引き上げに伴う本市の対策について**

**議員** 「ふたご商品券」の効果をどう見込んでいるか。

**市民生活部長** プレミアム付商品券事業は、低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和することなどを目的としている。効果が得られるよう事業に取り組みたい。

**議員** 大型店舗だけでなく、



1人1台の情報端末導入を実現すべき



いまい ようこ

**議員** 市道36-06号線、竹紫館前から南町方面に向かつていく道路で、三蔵院沿いの歩道のスロープにねじれが生じている。車いすやベビーカーはとても危ないので、対応していただきたいがどうか。

**都市整備部長** まずは現地を見て、対応が可能か判断させていただき、必要に応じて改修をしていきたい。

## 観光行政に更に力を入れ、地域の魅力向上を！

**議員** 観光事業の開催時には、警察などから警備員の増強が求められ、人件費の高騰などもあり、観光事業の予算が厳しい状況となっているが、今後の見通しをどのように考えているのか。

**市民生活部長** 近年、警察からはテロ対策なども含め、警備員の増強を求められているが、警備員の人手不足はもとより、人件費の高騰のため、事業の運営は厳しい状況が想定される。限りある予算の中で、安全面に十分配慮した上で、いかにして市の伝統的なお祭りを維持していくのか、観光協会や各お祭りの実行委員会と協議を重ねていきたい。

**議員** お祭りをつくっている側の方々は相変わらず手弁当で行っている部分も相当ある。それでも、このまちのために市民の笑顔のために取り組んでいる。川口市や朝霞市ではお祭りに多額の予算を補助している。本市においても、安全に楽しくイベントが開催で

きるように予算をしっかりとつけてほしい。

### 生活保護について

**議員** 対応するケースワーカーが常に不足していることについて、問題意識をどのように考えているのか。

**健康福祉部長** ケースワーカーは、平成26年度以降で80%の充足率となっており、リーマンショック以降、被保護世帯が急増したことなどが要因である。22年度以降、4年間



生活保護世帯数・ケースワーカーの基準数と実情



ふるかわ あゆみ

で4名の増員を図っている。**議員** 本市の生活保護率が高いことに対する市民の評判はどうか。また、新しく住みたいと思う人に影響はないのか。

**健康福祉部長** 影響についてはわかりかねるが、市民の信頼を得るために、生活保護法の目的である最低限度の生活の保障、自立の助長の実現と被保護者に課せられた義務の確実な履行の実現に向け、今後も適正に業務を実施する。

### 電子決済サービスへの対応について

**議員** 消費税10%に伴い、政府が自治体ポイント還元するサービスを検討しているが本市としてはどのような対応を検討しているのか。

**市民生活部長** 国は、国が発行する全国共通のポイントを上乗せする新たな制度を検討し、その結果について、可能な限り早期に知らせることとであるので、今後も国の動向を注視していきたい。

## 健康密度日本一を目指すなら 栄養健康づくり事業の推進体制強化を

**議員** 現在、赤ちゃんから高齢者までを1人の管理栄養士が担当しているため、日々の業務に追われ、健康づくりにおける「栄養」を大局的に推進できない状況が考えられる。市内公的施設で働く管理栄養士が連携しながら推進できるような体制をとれないか。

**健康福祉部長** 今年度から栄養健康づくり事業を円滑に推進する目的として、南部保健所管内の栄養士連携会議というものが9月24日に開催された。今後、各関係機関において、栄養の関係、特に健康づくり事業について、情報共有等が図られると考えている。

**議員** 埼玉県認定の「健康つき」を継続してほしい。と検討したい。

**議員** 大田原市内の宿泊施設は林間学校にも利用可能と聞いているがいかがか。

**教育長** 林間学校の宿泊地等は、



食生活改善推進員による減塩料理教室(東公民館)

くり協力店」が市内には12店ある。これは県の事業となるが、その周知や店舗を増やす取り組みに、ぜひ協力して進めていただきたい。

**議員** 「ふれあい交流協定」と「包括連携協定」について

**議員** 大田原市とは「災害時相互応援協定」を締結しているが、更に「ふれあい交流協定」を本年3月に締結した。この「ふれあい交流」については、どのように進めるのか。

**総務部長** 苗木市や機まつりで大田原市の産地直売が行われたほか、国際青少年キャンプ事業を大田原市で開催している。交流事業については引き続き大田原市

**議員** 教職員研修や日本語特別支援教室、適応指導教室などで使用するパソコンが1台もないと聞き驚いている。更なる活動の充実のために、設置予定はあるのか。

**市長** どのような整備が必要かというのは教育委員会に考えがあると思うので、その確認をしながら支援の充実に向けた取り組みを検討したい。



おおishi けいこ

学校長の専決事項となっている。各校への情報提供はしていきたい。

**議員** アルフレッサ㈱との「包括連携協定」は、高齢者の見守りと同様に、健康づくりへの協力にもおおいに期待したい。具体的な内容はどのようなか。

**健康福祉部長** 市などが開催するイベントに、認知機能の検査及び強化につながる機器の貸し出しや、栄養食品等の展示が可能と伺っている。

**議員** 教育センターの活動状況について

**議員** 教職員研修や日本語特別支援教室、適応指導教室などで使用するパソコンが1台もないと聞き驚いている。更なる活動の充実のために、設置予定はあるのか。

# 女性の視点から 防災対策の強化を

**議員** 私は過去に長期の避難生活を強いられた経験があり、自然災害の怖さと被災者の生活の困難さを身をもって体験した。避難所では、トイレやプライバシーの問題、また、子どもや高齢者、障害者への対応など、さまざまな問題が起る。被災者の目線に合わせた備えを行うことは極めて重要であり、そのためには避難所での授乳や着がえの問題など、女性ならではの視点を生かしながら、きめ細やかな災害対策を進める必要があると考えている。避難所運営において、女性への配慮をどの

ように考えているか。

**市長** 例えば、物干し場やトイレの配慮、女性特有の用品を配るときにも女性の方に配慮してもらつなど、そういったことまで避難所運営マニュアルには明記しており、これは非常に大事な視点だと思つて

いる。これからは災害の教訓などから、また新しい課題も出てくると思つので、それは随時取り入れながら、女性の視点での災害への備えにもしっかりと取り組んでいきたい。

**議員** 避難所で、子育て世帯をバックアップする体制を整えるため、液体ミルクの備蓄が必要と考えるが、市はどのように考えているか。

## 市民生活部長

市では現在、乳児用粉ミルクを備蓄しており、一部はアレルギー対応品となつているが、液体ミルクが国内で製造販売され始めたことから、粉ミルクとの比較検討を行った上で、備蓄を検討していきたい。



ほんだ ていこ

## 軽量で折り畳み式の ごみ収集容器の導入を

**議員** ごみの収集は、市民の皆さんの協力により行つてきているが、高齢の方からは「ごみ収集のかが重くて持ち運びが困難だ」という切なるご相談が寄せられている。ごみ収集かごを軽量で折り畳み式の収集容器にする考えはないか。

## 市民生活部長

かが重いとの申し出があつた場合には、容量が半分程度の小さいかごに変更するなどの対応をしている。現在のかごは、扱いが容易で壊れにくいといった使用上のメリットがある。一方、軽量かごや折り畳み式のかごについては、耐久性など、管理上のデメリットがあること、また、すべてのかごを交換することとなると多大な費用もかかることから、導入については公衆衛生推進協議会の意見等も伺いながら、引き続き調査・研究していきたい。

## 一般質問

# 7月の北町1丁目高校生切付け事件 危機感を持った対応を

**議員** 7月16日未明に北町1丁目で発生した、高校生が自宅で何者かに切りつけられるという事件では、犯人が逃走しているかもしれないという不安な朝を迎えた。市はいつどのように事件を知つたか。

**消防長** 午前3時32分に119番通報により覚知した。

**議員** 市役所内の担当者ほどどのように事件を知り、どのような対策を検討したか。

**市民生活部長** 警察との情報提供の取り決めはあるが、時間外であつたため、警察から消防に依頼があり、朝7時に防災行政無線を放送した。その後、11時台、14時台に防災行政無線を流したり、市のパトロールカーで巡回した。

**議員** もっと朝の時点で、近所にガンガン知らせることをしても良かったのではないかと、さまざま手段を用いて、市民に知らせるよう努めていきたい。

**議員** 近くには保育園もある。市はどのように情報提供や指示をしたのか。

**健康福祉部長** 警察から保育園にいく連絡網はない。私も出勤して事件を知り、それから追加で指示を出したが、始業時点ではきちつとした連絡がとれていなかった。

**議員** 夜間等に重大事件が発生した場合なども、きちんとした対応ができるシステムづくりをすべきだ。

**選挙事務の正確な執行を  
選挙公報はHPで公開し続けて**

**議員** 7月の参議院議員選挙において、開票作業場を持ち込まれた投票箱の一部が、ロックが不十分なものがあつた。その後の対策は。

**委員長** 事務説明会で十分説明するとともに、チェックリストをつくり、施設確認を徹底したい。

**議員** 何重に



えのもと かずたか

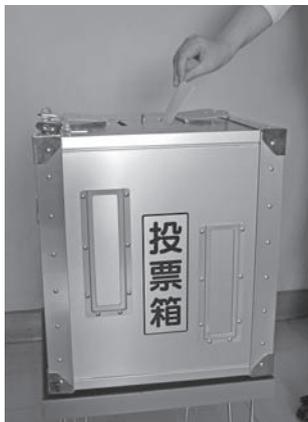
もチェックされた票から、開票立会人が無効票を見つけることが多々ある。改善策は。

**委員長** 十分に注意を喚起し、慎重に対応していきたい。

**議員** 選挙公報について、現在は選挙期間中にホームページに掲載しているが、選挙後に掲載をやめている。議員が本当に言ったことをやっているのか、他市のように選挙後も選挙公報をホームページに掲載し続けてはどうか。

**委員長** 十分に研究したい。

**ほかに** 「テレビ広報」「ハローわらび」の市ホームページでの視聴、「国民年金未納対策」「熱中症対策」「消費税増税」について質問。



開票所に持ち込まれた投票箱にはロックが不十分なものがあつた

# 孤独死対策について

**議員** 全国の各自治体で、孤  
独死対策が取り組まれている  
が、孤独死が減らない状況に  
ある。行政からの一方面的施  
策の提供だけでなく、話を  
聞き、その人の側に立った対  
策を考えないと、増えこそす  
れ、孤独死は減らないと思う。

**健康福祉部長** 平成28年度が  
7件、29年度が13件、30年度  
が12件となっている。

**議員** 本市の孤独死対策はど  
のようか。

**健康福祉部長** 高齢者調査の  
実施や福祉連絡システム等の  
見守りなどの取り組みのほか  
事業者等と見守り活動に関す  
る協定を14件締結している。

また、地域における見守り体  
制を充実する施策として、市  
内2か所の地域包括支援セン  
ターを中心に、各関係機関が  
連携して、地域における包括  
ケアの推進を目的とした地域  
包括ケアネットワークを構築  
している。

**教育委員会事務事業  
点検評価について**

**議員** 事務事業点検評価にお  
ける全体の評価についてどう  
考えるか。

**教育長** 今年度は平成30年度  
に取り組んだ19事業を選定  
し、実施した。外部委員評価  
による評価結果は、A評価が  
16事業、B評価が3事業で、  
C及びD評価された事業はな  
かった。こうしたことから、  
今年度の結果はおおむね良好  
な評価をいただくと考えてい  
るものと考えている。

**災害時に備えた対応  
について**

**議員** 危機管理の観点から救  
命ボートを増艇する考えはな  
いか。

**消防長** 現在、消防本部では  
ゴム製救命ボート2艇、アル  
ミ製救命ボート1艇を管理し  
ている。南町の水防倉庫に保  
管している救命ボートを消防  
署へ配備するなど、関係部署



おいしい こういち

との調整を図り、水害に即応  
できる消防体制の強化を図る。

**議員** ドローンを配備する考  
えはないか。

**消防長** 導入に要する費用や  
運用方法などの課題もあり、  
今後、調査・研究したい。

**議員** 現在、救命講習会で使  
われている資機材は型が古い  
ように思われるので、更新す  
る考えはないか。

**消防長** 現在使用している訓  
練人形や訓練用AEDは、劣  
化が認められる箇所もあるの  
で、必要に応じて、適宜更新  
していきたい。



水害に備えて救命ボートの増艇が必要(水難訓練の様子)

## あつたか市政を問う

# フタがない小径U字溝に フタをつけて

**議員** 市内に設置された細い  
小径U字溝のうち、多くの箇  
所で、フタがかけられていな  
い。道路交通上、危険である。  
ゴミが詰まりやすく、大雨の  
時には雨水の排水をせき止め  
て、内水災害の原因になりや  
すい。この件は、2年前に問  
題点を指摘し、フタがけある  
いは大径U字溝への置換を要  
望したが、その後の進捗は。

**都市整備部長** この間、錦町  
の区画整理区域内の街路整備  
済みエリアで約150メートル  
の整備が完了している。

**議員** なぜ全てやらないのか。

**都市整備部長** 作業中や作業  
後の安全面に問題がある。要  
望箇所があれば、まずは担当  
のほうで現地を確認したい。

**市長** 1メートル3万円とい  
う費用がかかり、他の都市整  
備の事業等を考えると、一気  
に全部整備するのは課題があ  
るので、総合的に判断したい。

**議員** 優先順位を上げて取り  
組むよう要請する。また、こ  
の程度のお金も出ないのであ  
れば、協働のフタがけを提案  
する。市がフタを買ってくれ  
れば、地元有志が持つってい  
てフタを載せる作業をする。

**都市整備部長** 作業中や作業  
後の安全面に問題がある。要  
望箇所があれば、まずは担当  
のほうで現地を確認したい。

**左派政治集会への市・市教委  
の後援に強く抗議する**

**議員** 8月28日に蕨市民会館  
において、「前川喜平が教育・  
文化・人権を語る蕨実行委員  
会」なる団体が主催する「元  
文科省事務次官 前川喜平さ  
んが語る教育と文化・人権」  
という集会が行われ、市・市  
教委は後援をした。同講演者  
は、文科省天下り問題の罪を

認め辞任している。国民によ  
る国家への信頼を損ねた方  
である。また、集会の題名、主  
催者名、趣旨説明の文言から  
教育・文化・人権に関する中  
立な立場による講演会を装っ  
ているが、名目だけを見るの  
ではなく良識をもって判断す  
れば、実態は左派政治集会で  
あった疑いが強い。したがっ  
て、公益性も政治的中立性も  
なく、後援を出すことは不適  
当であり、強く抗議する。

**総務部長** 講演会は「教育と  
文化・人権」と題するもので、  
特定の政治団体や利益団体に  
かかる内容ではなく、適切  
な判断だったと認識している。

**議員** 市が後援を出したのは  
市長が共産党員だからかもし  
れないが、市教委が後援を出  
したことは解せない。教育長  
は、どのような考えで後援を  
出すことを許可したのか。

**教育長** 市の基準に沿って精  
査して承認したが、教育委員  
会独自の基準を設けることの  
必要性も含めて検討したい。



ほや たけし



危ないし、ゴミが詰まりやすく水害の原因にも

# 市職員の人材育成、国保税率の見直しなどについて

**議員** 「蕨市人財育成基本方針」の意義や会計年度任用職員制度との関係はどうか。

**総務部長** 同方針は、市民サービスを向上させる意義がある。会計年度任用職員への適用は想定していないが、人材育成の必要性は認識している。その方法を検討したい。

**議員** 職員の育成について、市長の見解をお聞きしたい。

**市長** 市長就任時に、職員に対し、①市民との接点、現場を大切にすること②市民の思いを肌で感じ市政運営に当た

**近隣市と現在の国民健康保険税の比較**

ケース	70歳単身	70歳夫婦	35歳夫婦と子1人	50歳夫婦と子2人
所得資産	年金収入200万円 固定資産税なし	年金収入250万円 固定資産税6万円	給与収入400万円 固定資産税6万円	営業所得350万円 固定資産税6万円
蕨市	53,100円	119,900円	238,400円	358,000円
戸田市	68,700円	140,300円	312,100円	492,300円
さいたま市	74,500円	152,100円	333,900円	533,300円
川口市	76,300円	155,600円	342,700円	530,500円

※税額は、平成31年度（令和元年度）の税率を基に算定した額です。

ること③市長に対して遠慮なく意見・提案をすること④最終的に市長が責任を取るから市民のためになることを思い切ってやってほしいことを話し、その考えに基づき、「蕨市人財育成基本方針」を策定した。限られた財政、職員体制の中で、誇りとやりがいをもって業務に当たる職員の育成、まちづくりを進めていきたい。

**議員** 埼玉県に対しての意見表明の内容はどのように考えているか。

**市民生活部長** 当初、県から示された埼玉県国民健康保険運営方針案に対し、「市民の負担軽減のため」法定外繰り入れは市町村の裁量であり、赤字として扱わないことや「国保は低所得者が多く、加入者の負担を考慮すると赤字の全額解消は困難」との意見を表明した。その結果、「6年間で赤字解消が困難な場合は、

**議員** 広域化に伴う市長の見解はどうか。

**市長** 国の公費負担が減らされる中で、自治体が負担をしてきた経過がある。医療の高度化に伴い医療費が引き上がるなど、やはり税率改定はやむを得ない。しかし、国保は社会保障として重要な制度であることから、低所得者への配慮をしながら、県内で低い水準を維持していきたい。

**議員** 一灯式信号機の撤去について

**市民生活部長** 市内3か所の一灯式信号機は、平成30年11月に撤去・廃止が決まり、一時停止線や標識を設置した。

**ほかに** 「来年5月1日に撤去する蕨駅西口喫煙所」ラジカステラなどの自主的活動の把握と支援」について質問。



たけした りょう

## 一般質問

# 「子育てするならわらび」保育行政の推進を

**議員** 待機児童ゼロに向けた取り組みはどうか。

**健康福祉部長** 来年4月開設に向けて、錦町3丁目に定員69人の「(仮称)蕨錦町ゆたか保育園」を新規に整備。また、中央3丁目にある既設の「蕨ゆたか保育園」の定員を28人拡大する予定。今後必要に応じて認可保育園を中心とした施設整備を進め、待機児童ゼロを目指していきたい。

**議員** 幼児教育・保育の無償化について、本市への影響や準備状況はどうか。

**健康福祉部長** 今年度は幼児教育・保育の無償化に係る初年度経費が全額、国の負担となるが、来年度以降は公立保育園の国基準の保育料の10分の10、認可外保育施設等利用給付費の4分の1などの市負担分が新たに生じるため、市の負担が増える。準備状況は、関係例規の整備や改正、関係機関への説明や保護者等への周知、副食費の免除対象者の抽出などを行っている。

**議員** 留守家庭児童指導室の待機児童数と公募の実施状況はどうか。

**健康福祉部長** 待機児童数は23人。公募の結果、塚越5丁目の市民公園に隣接する建物2階に、定員30人の指導室（株式会社グローイングアツプが運営する「ウィルキッズフィールド蕨塚越クラブ」を選定した。（東小・塚越小の児童対象）夜間の軽食や昼食の提供などのサービスを行う。

**議員** 期日前投票所の増設についての検討はどうか。

**選挙管理委員会委員長** 移転・増設についての必要性は認識している。今後計画されている駅西口市街地再開発事業の公共公益施設の中で、期日前投票所が実施可能なスペースを確保できないかと要望した。公共公益施設が完成したときには、期日前投票所が設置できるよう検討していく。



やまわき のりこ



錦町3丁目に建設中の(仮称)「蕨錦町ゆたか保育園」

**議員** 市民と一緒に、より良い形での条例制定をと考えていくべきだと思いませんか。

**健康福祉部長** 蕨市聴覚障害者協会、蕨手話サークル、蕨市手話通訳派遣事務所との関係団体に、条例制定に向けた取り組みを進め、市民とりわけ聴覚に障がいのある皆さんにとって、より良い条例が制定できるよう努める。

**ほかに** 「蕨市健康長寿モデル事業の効果」について質問。

**議員** 市民と一緒に、より良い形での条例制定をと考えていくべきだと思いませんか。

# 超高齢化社会を見据えた働き方改革を包括的に問う！

**議員** 人生100年時代とい

われる時代にあつて、豊富な知識と経験を有する再任用職員をはじめ、本市職員の公益

法人等への派遣等に関する条例を早急に制定すべきと考え

るがどうか。

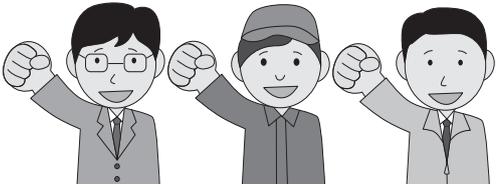
**総務部長** 今後、本市の事務

または事業との関連性の度合いや人的援助の必要性を精査し、検討を進めていきたい。

**議員** すぐれた知見と経験を有する方を派遣する職員派遣

制度ができれば、公益的法人の体制強化、機能強化が図ら

## 働き方改革



れると考えているので、可及

的速やかに条例制定に取り組んでいただきたい。

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）と呼ばれる最先端のICTを

導入して、事務処理を自動化する取り組みが広がっている。

その本質は、「業務効率化」ではなく、「労働力を創り出す」という発想にあると思うが、

本市の取り組みはどのようか。

**総務部長** RPAは、職員の日常業務を効率化する手段として、多くの自治体に関心を

持っている。本市においても、県が主催する勉強会に参加し、

先進自治体の取り組み事例や導入方法などの情報交換を行うとともに、RPAに関する

セミナーへの参加や事業者からの情報提供など、情報収集を行っているところである。

**民生委員・児童委員の活動支援について**

**議員** 日本が誇る民生委員制度も、委員は60代以上が85%

と高齢化すると同時に、なり手不足が懸念されている。急速に進む高齢化や、ひとり親世帯の増加、自然環境、社会・経済情勢の変化などで、民生委員の負担は拡大し続けており、人材確保対策の面からも市独自の財政支援は不可欠であると考える。ぜひ前向きな検討を続けていただきたいと思うが、見解はどうか。



いけがみ ともやす

**健康福祉部長** 平成29年度に高齢者調査や見守りなどの件数の増加など、増大する民生委員・児童委員の負担を考慮し、市単独の補助金について、委員1人当たり4400円を増額した。あわせて、会議の開催方法の見直しや、高齢者調査の実施方法の見直しなど、対応が可能な負担軽減の取り組みにも力を入れている。活動費の額を検討する際は、民生委員・児童委員の活動内容を十分考慮するとともに、負担軽減の取り組みや関係機関との連携など、活動への支援の充実も重要と考えている。

## あつたか市政を問う

# 学校体育館・市民体育館・給食センターにエアコンの設置を

**議員** エアコンが設置されて

いない公共施設が残されている。学校体育館、市民体育館、給食センターの空調の設置状況はどのようか。

**教育部長** すべての学校体育

館、市民体育館のアリーナ、給食センターの調理室・洗浄室が未設置となっている。

**議員** 市内の中学生から「体育館で臭合が悪くなつてフ

ラフラだった」「気持ち悪くて吐いてしまった」との声が上がっている。学校体育館にエアコンを設置してほしい。

また、その財源はどのようか。

**教育部長** 猛暑等の環境変化で必要性は高まっている。避難所としての生活環境の観点からも整備に向けた検討を行っている。また、避難所となる学校体育館や市民体育館への空調設置という観点では、総務省の起債事業である緊急防災・減災事業債が対象になると認識している。

**議員** 国の緊急防災・減災事業債が使えるとのことだが、令和2年度までとなり、この事業債の期限までに全校を済ませるのは難しいと思う。日本共産党市議団は、8月28日、避難所にもなる学校体育館へのエアコン設備に関わる同事業債の対象期間延長を求め

るため、参議院議員と一緒に、総務省へ要請に行った。市としても引き続き頑張っていた

きたい。

給食センター調理場において、「暑くて倒れそう」「昨年度は何人か倒れた」との声を調理員から聞いているが、そ

の対応についてはどうか。また、建物が古くて空調が設置できないと聞いているが、市の見解はどのようか。

**教育部長** 大型扇風機やスポットクーラーなどを設置している。他市の事例では、建物が古くても設置しているケースがある。設置に向けて検討するならば、そのようなことも踏まえて考えていきたい。現時点では、建物が古いからと言って絶対無理とは言えない。

**DVの今後の対策と対応**

**議員** 本市では、配偶者暴力相談支援センター事業等のDV対策に力を入れてきた。今後は、被がい者が活用できる「被がい者ノート」をつくってほしい。

**民生生活部長** 有効な情報として取り入れていくことはできると思っているので、ノートの有効な部分を活用したい。

**ほかに**「給食費改訂の検討」について質問。

また、その財源はどのようか。



みやした なみ



エアコン設置が望まれる学校体育館（第二中学校）

# 18歳までの子ども医療費無償化 （通院も含む）の早期実現を

**議員** 入院分の実施に伴う予算想定額はどのようか。

**健康福祉部長** 拡大分は約300万円と見込んでいる。

**議員** 入院だけでなく、通院についても無償化した場合の予算想定額はいくらぐらいか。

**健康福祉部長** 通院は3000万円超と試算している。

**議員** せめて1年前倒しして、令和3年10月からスタートできないか。また、通院についても含められないのか。

**健康福祉部長** 実施時期は慎重に検討したい。通院については、現状のことも医療費全



子ども医療費の年齢拡大を早期に実現すべき

体で約2億3000万円の支出があり、限られた財源の中で、見極めていきたい。

## 敬老祝金制度の見直しについて

**議員** 他の多くの自治体にて廃止又は大幅な縮小を実施しており、そのことをどう考えるか。また、高齢者の資産格

差が拡大していく中、資産状況に関係なく支給するという現制度は明らかに時代にそぐわないと考えるがいかがか。

**健康福祉部長** 本市でも何らかの方策や見直しが必要になると認識している。また、本

制度は、長寿のお祝いとして実施しているため、所得や資産状況での限定はしていない。

**議員** 川口市と同水準にするだけで、現予算を6分の1に縮小、毎年5千万円以上の財源が確保できるがいかがか。

**健康福祉部長** 多くの方に喜ばれている事業であり、現在検討しているところである。  
**議員** 限りある財源の中、よ



なかの たかゆき

り優先させるべきは、子育て世代・将来世代への投資ではないか。市長の財源の優先論の考えはどのようか。

**市長** 敬老祝金は、今の日本や歳をつくってきた方々へのお祝いであり、その趣旨はすばらしいと思っている。また、市長就任以来、子育て支援に一番力を入れてきており、こ

ども医療費や保育園関連予算は大幅に増えている。子育て支援を強めながら、敬老祝金をなるべく続ける努力をすることが私のスタンスである。

## 選挙投票率向上への取り組みについて

**議員** 若者・現役世代の低投票率を考え、「明るい選挙推進協議会」の講演を平日夜または土日に変更できないか。

**選挙管理委員会委員長** 今後変更できるか調査研究したい。

**ほかに** 「蕨市教育委員会名義の後援指定の基準」「蕨駅東口交差点スクランブル化」について質問。

## 一般質問

# 「ぷらっとわらび」ルート拡充へ

**議員** 3月議会における附帯決議（蕨市における総合的な交通政策に関する検討報告書が提出されるまで「コミュニティバス」「ぷらっとわらび」の

ルート拡充に関する予算執行を停止する内容。日本共産党市議団は反対）に基づき出された報告書の内容は、また、期待する効果、ルート拡充の

必要性、蕨市にふさわしい公共交通の考えはどうか。

**総務部長** 交通弱者の利便性を高める総合的な交通政策の検討等が主な内容。人口密集地という特性や費用対効果

の必要性がある。

**議員** 報告書の提出を受けて準備が再開されるが、運行までのスケジュールはどうか。

**市民生活部長** 運行事業者や警察などの関係機関との安全運行の協議・調整、新設バス停の住民交渉を行い、これらが整った後、関東運輸局への申請を行い、今年度中の運行を目指していきたい。

**議員** 附帯決議により5か月間にわたり準備がストップしたことは



ルート拡充へ準備が進む「ぷらっとわらび」

社会経済状況を踏まえ、多くの利用者を安定的効率的に移動させることができる定期路線運行の「コミュニティバス」が適しているものと考えている。

**市民生活部長** 超高齢社会が進展する中、健康増進、介護予防、社会参加等につながる外出しやすいまちづくりへの役割を期待している。蕨駅や公共施設へのアクセス向上などを目指す上で、ルート拡充

の必要性がある。

**議員** 報告書の提出を受けて準備が再開されるが、運行までのスケジュールはどうか。

**市民生活部長** 運行事業者や警察などの関係機関との安全運行の協議・調整、新設バス停の住民交渉を行い、これらが整った後、関東運輸局への申請を行い、今年度中の運行を目指していきたい。

**議員** 附帯決議により5か月間にわたり準備がストップしたことは

残念に思う。この期間の検討を生かし、市民要求と本市の地域環境にあったルート拡充が一日も早く実現することを望む。また、75歳以上無料パスの申請手続きの簡素化、中心市街地活性化に生かすための商店街等との懇談など、さらなる充実を要望する。



すずき さとし

## 衛生センター施設延命化の影響と環境対策

**議員** 市民生活への影響は。市民生活部長 ごみ焼却炉を停止しなければならぬ期間

さいたま市、川口市、和光市の施設に収集された燃やすごみを搬入するため、収集時間が遅れることが想定される。

**議員** 地球温暖化が国際的な課題になっている。ごみの減量化と合わせて、環境問題として市民に呼びかけるなど、取り組みを要望する。

**ほかに** 「市内事業者への発注状況と受注機会の確保の対応」「台風などの風による被害への対策」について質問。

# 常任委員会 視察報告

## 総務常任委員会

### ○日程

令和元年10月7日～8日

### ○視察地・調査事項

福島県福島市  
「RPAの導入状況について」  
福島県伊達市  
「災害対策について」

### ○調査報告

福島市は、庁内事務におけるRPA活用等の実証実験を行っていました。RPAは、データ入力などの単純作業を自動処理させる仕組みで、正確性の向上とともに、作業に係る労力を削減するものです。市政だより作成業務において約31%の削減等の成果があり、処理時間の削減とともに、人的ミスの防止などの効果が確認されていました。

伊達市は、東日本大震災の教訓から、避難所へのWi-Fiスポットや災害時公衆電話回線の設置、移動系防災行政無線の統一とデジタル化、衛星携帯電話の購入や同報系防災行政無線の整備、防災拠点施設への非常電源の整備、大規模災害時相互応援協定の締結、各種災害対策マニュアルの作成、自主防災組織の育成などに取り組んでいました。



## 環境福祉経済常任委員会

### ○日程

令和元年11月5日～6日

### ○視察地・調査事項

新潟県新潟市  
「次世代店舗支援事業について」  
新潟県上越市  
「子育て支援事業について」

### ○調査報告

新潟市の「次世代店舗支援事業」のうち「既存店舗魅力向上事業」いわゆる「商店リニューアル助成事業」では、相談の段階から中小企業診断士や専門家がアドバイスをしたり、売上や来客数の報告書を提出する段階でも、アドバイスを受けられるようになっており、多くの店舗で利用されていました。

上越市の特徴的な子育て支援事業としては、看護師等雇用補助金、お泊りも可能なファミリーヘルプ保育園、保育園士（用務員をかねたおじいちゃん先生）の雇用、地域子育て支援拠点事業（子育て広場24カ所、こどもセンター2カ所）、妊産婦医療費助成制度などがありました。また、新しくできたオーレンプラザこどもセンターも視察し、たくさんの親子が利用していました。



## 教育まちづくり常任委員会

### ○日程

令和元年10月23日～24日

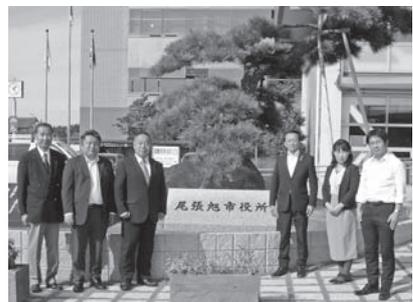
### ○視察地・調査事項

愛知県尾張旭市  
「読書通帳について」  
愛知県小牧市  
「ICT教育の推進について」

### ○調査報告

尾張旭市では、幼少期から本に親しむための取り組みとして、「あさぴーこども読書通帳」を配布しています。この通帳はお金ではなく、読書の記録を貯めるものです。通帳1冊につき、読んだ本100冊を記載でき、たくさんの知識や感動を貯めて、心を豊かにするものです。手書きなので事業費も印刷代程度と少なく、後で見直しても宝物になるとのことでした。

小牧市では、電子黒板とタブレット端末がリンクされ、誰がどのように使っているのか手に取るようにわかり、視察した学年の複数のクラスで同時に使われている様子は圧巻です。生徒もタブレットを授業の道具として、何も違和感なく使っている様子を見ることができ、驚きと感動がありました。



## 議員派遣報告

### 第81回 全国都市問題会議

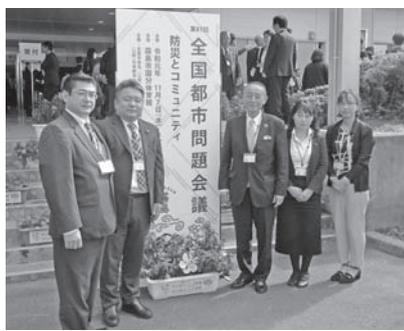
#### 「防災とコミュニティ」

11月7・8日の2日間にわたり、全国各地より市長・市議員・市職員等が参加し、都市の抱える問題や今後の地方自治の在り方について議論する「第81回全国都市問題会議」が鹿児島県霧島市で開催されました。今回は、「防災とコミュニティ」をテーマに、講演やパネルディスカッション等を通じて活発な議論が展開されました。

1日目は、基調講演として、志學館大学人間関係学部教授の原口泉氏から「鹿児島市の歴史から学ぶ防災の知恵」と題し、災害が起きることを前提として社会が築かれていたと考えられる前近代から学び、災害は自分の身近なところから起こりうる可能性があるという認識を持って、防災対策を考えるべきであると論説されました。

続いて、主報告として、霧島市長の中重真一氏から「霧島市の防災の取り組み〜火山防災〜」と題し、太いつながりを持った広域的なコミュニティの取り組みが紹介され、地域社会を中心としたコミュニティの防災への取り組み推進に努め、いつでも起こりうる災害に強いまちづくりを目指すことなどについての報告がなされました。

また、尚絅学院大学人文社会学部長の田中重好氏からは「災害とコミュニティ 地域から地域防災強化への答えを出すために」、また、広島市長の松井一實氏からは「平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取り組みについて」と題した一般報告が行われました。2日目は、5人のパネリストによるメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われ、閉会しました。



# 議会報告会を開催しました

令和元年11月15日(金)19時から文化ホールくるるにおいて開催された「第4回、議会報告会」には、32人の方にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

今回の議会報告会の内容をお伝えします。



## ○議会のしくみ等の説明

○**審議概要報告** 以下の9項目の概要について説明を行いました。  
 「平成30年度の決算状況」「新庁舎・仮設庁舎整備」「防災」「保育行政」「健康マイレージ事業」「ごみ問題」「蕨市教育センターの現状」「学校体育館へのエアコン導入」「蕨駅西口地区市街地再開発事業・錦町土地区画整理事業の進捗状況」

○**質疑応答・意見交換** 主な質疑応答などの内容を以下のとおり紹介します。また、紹介できなかったご質問については、準備が整い次第、蕨市議会ホームページに会議録として掲載しますので、ぜひご覧ください。

**Q** 幼児教育・保育の無償化について、蕨市には幼稚園類似施設があるが、議会でどのような意見交換があり、最終的にはどのような対応となるのか。

**A** 幼稚園類似施設であるひかり幼稚舎は、国の幼児教育・保育の無償化の対象外となっています。議会では、7月臨時会で幼稚園類似施設も無償化の対象となるよう求める意見書を議決して国に提出しましたが、残念ながら対象外のままです。今後は、ひかり幼稚舎が地域子育て支援拠点事業を実施することで、市が委託料を支出して支援していく予定です。

**Q** 小学校に外国籍の児童が多くいる中で、子どもの保護者が日本語を話せず、コミュニケーションがとれない問題がある。保護者に対する日本語支援やフォローできる体制をとることはできないか。

**A** 子どもだけではなく、保護者の方も参加できる日本語特別支援教室を実施しています。また、公民館を会場に、一般の外国人の方を対象とした日本語ボランティア教室を開催するなど、多文化共生社会に向けてさまざまな施策を実施しています。

**要望** ・蕨駅西口地区市街地再開発事業の早期実現 ・重度知的障害者入所施設を充実してほしい

※質疑応答・要望については、要約しています。

## 12月定例会の日程

11月27日(水)開	会	3日(火)委員	会	12日(木)一般質	問
29日(金)質	疑	4日(水)	//	13日(金)	//
12月2日(月)委員	会	11日(水)一般質	問	17日(火)閉	会

**傍聴に来てみませんか?** ※議会の都合により日程は変更になる場合があります。  
 【問い合わせ】4階 議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

## 広報広聴委員会を開催しました

8月30日	「議会報告会の内容について」
9月13日	「12月発行号の概要・議会報告会の内容について」
9月30日	「議会報告会の内容について」
11月11日	「議会報告会の内容について」
11月14日	「12月発行号の最終確認について」
11月19日	「議会報告会について」

## 編集後記

7月20日より新しい市議会の4年間ははじまり、この広報広聴委員会も新たなメンバーでスタートいたしました。

委員のメンバーはさまざまなか考え方を抱えています。議会というものを1人でも多くの方に理解してもらうために、委員会を多く開き、意見の集約議論を行って1つの形をつくってまいります。

議会報告会も4回目となりました。今回は新任期になつてからすぐに行う議会報告会ですので、新しい試みは少ない形になりましたが、来年度は大きく変えていきます。皆さんのアンケートやご意見を参考にさせていただいておりますので、ぜひ多くの声をお寄せください。

## 広報広聴委員会

委員長 大石 圭子  
 副委員長 宮下 奈美  
 委員 中野たかゆき  
 古川 歩  
 本田てい子  
 榎本 和孝  
 前川 やすえ  
 保谷 武